

図書 紹介

食品表示検定認定テキスト・中級

編者：食品表示検定協会／監修：日本食品管理・情報研究会

発売元：ダイヤモンド社／〒150-8409 東京都渋谷区神宮前 6-12-17／

TEL03-5778-7240／A4判／261頁／価格2381(税別)／2006年4月6日発行

食品表示検定は、本年3月に「食品表示」の啓発を目指して発足した新しい検定である。食品表示は、消費者が商品を購入する際の品質を判断するための情報源であるが、近年、食品表示に関わる事件が相次いでいるが、消費者は正しい食品表示に関する知識を高め、安全で安心な食品を選択したいという強い要望を持っている。一方、食品事業者は常に安全・安心な食品を提供することが求められている。

本書は、食品表示について消費者の疑問にも的確に答えられる事業者、消費者と接点を持つ店舗スタッフを対象に「食品表示」の専門家養成のための初めての認定テキストとして編集されたものである。

執筆者は、池戸重信(宮城大学)、大西詳三((財)日本食品分析センター)、黒柳要次(株)パデセア)、新蔵登喜男(有)食品環境研究センター)、鈴木ちはる(株)消費経済研究所)、日佐和夫(東京海洋大学大学院)、的早剛由(マトハヤ・フーズコンサルタント(株))及び丸山 豊(特非法人日本オーガニック検査員協会)の8氏である。

第1章 食品安全と食品表示

第2章 生鮮食品売り場の表示

第3章 加工食品の表示

第4章 事例でわかる食品表示

第5章 表示の個別解説

第6章 食品表示マーク

テキストの内容は、第1章は、食品表示に関する法律、食品表示の表示対象など、第2章は、生鮮食品の表示の原則とその例など、第3章は、加工食品の表示の原その例、表示方法、名称等、原材料名、原産国名、アレルギー、食品添加物、遺伝子組換え食品、期限表示、保存方法などである。第4章は、農産物3、畜産物6、水産物7な

ど 36 品目の表示例である。第 5 章は、原料原産地表示、業者間取引の表示、アレルギー、食品添加物、遺伝子組換え食品及び有機食品、外食の原産地、表示禁止事項の解説など、第 6 章は、JAS、特定 JAS、有機 JAS、特定保健用食品、HACCP などのマークなどである。

資料編は、食品安全基本法、食品衛生法、JAS 法、不当景品類及び不当表示防止法（景表法）、計量法、牛肉トレーサビリティ法、監視体制、相談窓口、生鮮食品品質表示基準、水産物品質表示基準、玄米及び精米品質表示基準、しいたけ品質表示基準、加工食品品質表示基準、遺伝子組換え食品に関する品質表示基準、食品表示に関する関係機関一覧が掲載されている。

食品表示は、従来から食品事業者間でもバラツキがあり、消費者への信頼や法令順守の面でも問題となっている。食品表示を理解しようとしても法律で定められた食品表示の方法が複雑だったり、わかりやすいテキストや学習のための基準がないことなどがネックになっていた。本書は、このような問題を解決してくれる内容豊富なテキストとなっている。この検定活動通じて消費者は食を選択する目を養い、事業者は正しく食品情報を表示することが「食の安全・安心」の向上に寄与するものと考えられる。また、社内資格や昇格制度への適用、大学における食品関係の単位取得者への試験免除などの対策が普及に繋がるものと思われる。

なお、食品表示に関する検定には、ほかに「食品表示管理士検定」（社）日本セルフ・サービス協会）がある。（学会事務局）